

～【挨拶について】～

1学期の第2週に入りました。生徒の皆さん、新しい先生、新しい友だちにはもう慣れましたか。1年生はこれに加えて、授業やその他たくさんのが中学校生活と共にスタートし、小学校との違いにまだまだ戸惑っている場面がたくさんあるかもしれませんね。

私も本校に赴任して3週間程度ですので、まだまだ慣れないところがありますが、早く鹿南中の伝統、文化、校風を理解し、鹿南中学生の素晴らしさを見つけ、どんどん発信していきたいと思っています。

朝、数人の先生方と正門で生徒を迎えています。鹿南中は生徒の出入り口が正門のみとなっていますので、正門に立つと、全校生徒の朝の表情を見ることができます。

これも鹿南中学生のすばらしいところの一つでしょう。ほとんどの生徒が元気よく、「おはようございます！」と進んで挨拶してくれます。また、立ち止まって挨拶してくれる生徒の多さにもびっくりしています。教職について初めての経験です。この風景を見るだけで1日を気持ちよく過ごすことができます。

さて、挨拶には、私は2つの「機能」があると思っています。

まずは、「心のスイッチ」をいれる機能です。誰だって、そしていくつになっても朝はつらいものです。特に冬の時期なんて、永遠に布団から出ずにまどろんでいたいと思うものです。しかしそういうわけにもいきません。目覚ましや家族の「朝ぞ！起きろ！」の声で起きて、登校、出勤の準備をしなければなりません。思考も身体もまだまだ半分しか起きていない状態がしばらく続きます。しかし、このボーっとした状態で1日を過ごすわけにはいきません。学校でも職場でもやるべきことが山ほどあります。

そこで必要になるのが、「心のスイッチ」です。心のスイッチを、オフからオンに切り替えねばなりません。一家庭人のあなた方から鹿南中生とし



てのあなた方に心(思考)も身体(行動)も切り替えなくてはなりません。

そのためのスイッチをぜひ正門での元気な、立ち止まっての挨拶にしてみてください。鹿南中が今以上に活気を帯びてくること間違いなしです。

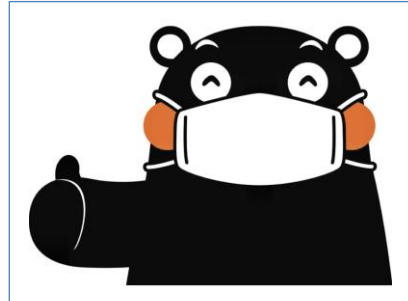
挨拶の2番目の機能は「絆を深める」ことにあると思います。「おはよう。」「さよなら。」の挨拶には、「僕を仲間に入れてください。」「あなたを仲間として認めますよ。」というメッセージが込められていると思います。ですから、クラスにまだ少し馴染んでいないな、と思ったら積極的にクラスメートに「おはよう。」と言ってみてください。そして言われた生徒は、その「おはよう。」の一言に込められたその子の願い、思いをくみ取り、笑顔で「おはよう。」と返してください。友達づくりが苦手な、中学校なんていやだな、と思っている生徒にとって、このたった一回の、わずか数秒の言葉のキャッチボールがきっと大きな希望と勇気をあたえてくれると思います。

令和3年度がスタートしたばかりです。生徒の皆さん、一日一回はクラスのみならず言葉の交わすように心がけてください。もちろん「おはよう。」や「さよなら。」の挨拶だけでも全くかまいません。照れくさいなら「オウ！」でもいいし「バイバイ！」でもOKです。みなさんのちょっとした頑張りが積み重なることで、そのクラスは最高の集団に変貌していきます。頑張り！

～【決して油断せずに】～

新型コロナウイルスの感染拡大が熊本県においても加速してきたようです。昨日、熊本県・市はリスクレベルを3から4に引き上げました。

新型コロナウイルスに関しては感染が始まった当初から「油断につけこむウイルス」と言われています。決して油断せず、うがい、手洗い、三密防止を徹底し、新しい生活様式を遵守するなら、必要以上に怖がることはないと思います。ご家庭でも子ども達へのご指導をよろしくお願いいたします。命、健康より尊いものはありません。



保護者の皆様へ。SNSによるトラブルが全国的に頻発しているようです。毎日とは申しませんが、少なくとも週1回は子どもさんのスマホをチェックしてあげてください。子ども達を、スマホによるトラブルの被害者にも、加害者にもしたくありません。どうかご協力をお願いします。学校と家庭で力を合わせて、子ども達を守りましょう。